

「北総生きもの研究会」3月例会

07.03.4(日) pm15:00~17:00

於:「ウェルぷらっと」ボランティア室

1. 専門家による白井市自然環境調査の手伝い

①平田先生による第4回植生(フロラ)調査の実習

午前中1メッシュ 調査実習を予定しています。

3月15日(木) 午前の部 10:00~13:00

10:00 市役所集合 調査地 浦部(No. 1728)

(午後の部は、調査となります)

尚、参加希望の方は、前日まで 相馬(唐)さんに 連絡をお願いいたします。

雨天の場合は、参加の方のみに連絡いたします。

②原田先生による地衣類調査

3月14日(水) 10:00~

持ち物等: 弁当・飲み物・ルーペ・図鑑・双眼鏡・温かい服装

③古木先生によるコケ調査

日程が決まり次第、連絡をします。

古木先生より:「同定した結果、102種になりました。

ありそうで見つかっていないコケがほとんどなくなりました。

樹幹着生の種が少ないです。

これからが大変です。」

2. 3月「コブシ分布調査」計画

◆齋藤さんより、調査区画割をした白井市地図の配布

- ①目的 市内のコブシの分布調査
(市内の生物調査の一環として)

②調査内容

- ㊦市内のどこにコブシの木があるか場所を確認する。
㊧大きな木については、胸高の太さを測る。(まわりの長さ)
㊨調査した内容を市域の地図に転記する。

担当地区の大きな
コブシを2~3本
を計る

③具体計画

- ㊦調査の時期 コブシの開花の時期を予測して、おおよそ3月の中下旬
㊧調査の方法

○2~3名で班をつくり、担当地域の調査をする。

A地区: 塚(初)・塚(義)・中條 B地区: 森田・相馬(な) C地区: 坂巻・坪井
D地区: 坂巻・坪井・米田・緒方 E地区: 矢野・寺園 F地区: 相馬(な)・森田

G地区：齋藤・長谷川

H地区：岩本・相馬(唐)

○担当者同士で日程を決め、随時行う。

○自動車あるいは徒歩で調査する。

○3月23日（金）18：00～20：00の間に各自記入しに来る。

「ウェルぷらっと・ボランティア室」で、市域の地図に落とすなどのまとめの作業を行う。

時期がずれ込む場合は、随時修正し、最終、齋藤さんがまとめる。

④その他

㊦事故にあわないように、あるいは起こさないように十分注意する。

㊧写真をできるだけとっておく。

㊨「今年の調査だけで完全を期すことはできない」という考えで取り組みたい。

㊩調査の区域割り及び担当者は別紙。

㊪調査の中で、指標種を確認したら、別紙に記録しておく。

㊫調査したコブシについては、今後継続的に観察し、実のでき具合までを確認したい。

3. 5月「ホオジロ分布調査」

◆ 坂巻さんよりホオジロー斉調査について

・目的： 田園の指標となるホオジロを通して 北総地域を一般市民とともに見つけ、
“里山をいかしたまちづくり”にいかしていく。

・日時：5月19日（土） 予備日20日

・調査手法

・・・北総生きもの研究会のメンバーが、ホオジロの調査手法を身につけ、
当日、担当地区を一般参加者と共に調査し、最終、地図にまとめていく。

・主体、主催はどうするか？

・・・北総生きもの研究会と環境課の共催という形に持っていけないか？

・白井市だけではなく、印西市とも共同で行えないか？

・・・白井市を中心としても、今後のことを考えて、少しの地区でもやってみる。

・広報について

・・・市の広報紙、ホオジロなど

・調査の時間帯について

・・・9時集合・説明

9時半開始（移動など）

・参加団体・市民への対応

- ・・・○調査をするというより、参加して楽しんで頂くという視点を重要視する。
- 午前のみ参加、1日通しの参加など、参加しやすい対応を考える。
- 無理な市民参加を要請するのではなく、タウンミーティングや環境フォーラムで知り合った団体などに声かけをしていく。

4. 07年の活動計画について

◆長谷川先生より

① 指標種調査について

養成講座の宿題もかねて

3月4日(日)までに、去年各人が行った指標種調査の記録を一旦整理する。

指標種の担当者を決め、各人の情報を担当者が収集し、整理し、1枚のフォーマットにまとめる。

フォーマットは、長谷川先生がメールにて全員に配信。

●次回の養成講座（3月4日）は、指標種のまとめの作業となります。







⑦今年度調査の対象とする指標種は次の12種とする。

ニホンアカガエル（森田・相馬な） シュレーゲルアオガエル(相馬成)
クツワムシ(長谷川) カブトムシ(中條) ヒグラシ（寺園・矢野）
クルマバッタ(高野) ノウサギ(高野) コガネグモ（相馬な）
ホオジロ(坂巻) ヒバリ(堺初・義) コブシ(齋藤)
ホオノキ(岩本・相馬唐) クサボケ(緒方・米田)
ツリガネニンジン(坪井) カワニナ(森田)

指標種調査は、来年度もこの15種類にて継続。

②月別の活動計画（案）

⑦月別の活動計画

月	実施日	活動内容	担当者	備考
2	10	水辺の環境調査 アカガエルの産卵調査	長谷川 長谷川	   終了
3	4	自然環境調査員養成講座		   終了
	中旬 23	コブシ分布調査 コブシ分布調査のまとめ (18:00~20:00) ウェルぷらっと	齋藤	
4		4月の谷田（春の植物観察会）	相馬（唐） 山口・岩本	日程は後日

	16日 予23日	ホオジロー斉調査の研修（谷田）	坂巻・塚(初)・ 塚(義)	講師:中山先生 (東邦大) or 河辺先生(印 西在住) 全員参加お願 いします
5	19日 予20日	ホオジロ分布調査	坂巻	全員参加お願 いします
6	2日 予3日	環境保全先進地域見学 穴塚・牛久自然観察の森 (茨城県自然博物館)		
		総会		
7	14日・ 15日	コガネグモ講座 コガネグモ調査（谷田・武西）	相馬（な）	講師:加藤先生
	21日・ 22日	水生生物講座(水の館) 水生生物調査（金山落し）	森田	講師:須藤先生 講師:佐藤先生
8	20日	鳴く虫調査		内田先生
9	22日・ 23日	バッタ調査（環境塾との合同）	森田	内田先生
10		印旛村の自然観察会	高野	
11				
12				
1				
2				
3	8・9日	トウキョウサンショウウオの観察会 (千葉市少年自然の家) 1泊2日	長谷川	

④◆ガイドブックの作成について

相馬(唐)さんと長谷川先生で、来年度末を目安に作成する。

⑤「生物図鑑」作成という考えもあったが、すぐに取り組める課題ではない。しかし先を見通して今から写真等を準備していく。

◆養成講座の白井市の60区画地図について

白井市役所、環境課に置いてもらい、随時、必要な人が取りに行くというシステムにする。

📄📄📄60区画分を全員が所持し、随時コピーできるようにする。

今後、印西市、本埜村、印旛村などについても、同じような体制づくりをしていくことが望ましい。

5. 会員募集について

入会希望者については、4月の谷田の観察会、ホオジロ調査などに参加して頂き、様子をみてもらう。会のチラシの常備。

6. その他

◆白井自然観察会 坂巻さん から・・・

4月21日（土）に、船橋県民の森 さざんかの家にて

【食べられる野草】を行います。

◆博物館から

①維管束植物の標本について、地衣類の原田先生からのメールを添付いたします。

・・・当館でただいま維管束植物の重点研究を行っていますが、その代表となっている当植物学研究科の齋木さんに話を聞きました。

それによると、ただいま館山と柏で調査が進んでいて、それは今後、別の地域にも移行していくということです。館山と柏では地元の人たちのグループがあって、調査をしていて、最終的には標本は中央博物館に入れてもらっているとのこと。調査・採集・標本作製については博物館側が指導あるいは協力をしますが、地元グループが主体的に行っているそうです。博物館側では受け入れた標本について、同定結果を知らせるなどしているそうです。詳細については直接聞かれたほうがよいでしょう。ご興味があるようでしたら、コンタクトを取られると良いかと思います。

維管束植物も地衣類と同様に、「標本がない報告は信頼が置けない」という考えから、標本にもとづく調査を心がけているわけですね。

②地衣類の顕微鏡での実習について、原田先生からのメールを添付いたします。

先に、地衣類を顕微鏡で観察したいということが話題に上っていましたが、一度やりましょうかね？

博物館においていただくとして、2名程度の場合と、それを超える場合で別の対応を考えております。

1) 2名程度の場合： 私が標本整理や、主に研究をしている場所、第3収蔵庫にて。原田の日常業務として行い、特に私が誰かの許可を得る必要は無い。

2) 多数の場合： 研修室を使用する。研修室の使用許可を得る（他の行事などで使われていなければ、たぶん問題なく使用できる）。

月から水曜が良いのでしょうか？私の場合、月曜が出勤ですと対応できますが、休みの場合は家庭の用事が入るので9時から2時頃までしか対応できません。火曜は会議が入ることがあ

ります。水曜は当面は白井の調査ですね。ということで、当面は難しいかもしれませんが、日程の都合が付き次第ということにしましょうか。

標本庫見学

そのときに標本庫見学をしたいと思います。原則として入室定員 5 名ですので、これを超える場合には 2 度に分けて対応します。

何かご希望、気がついた点などありますか？

……この件については、環境調査の進捗状況に応じて、検討・対応していくということになって
います。 以上

2007.2.28 1:07 長谷川雅美先生からのメール

皆様

本日、幹事会でスケジュールの話をしました。7月21日、22日に仮予定していた金山落しでの魚類調査の件で、手賀沼親水広場の須藤さんと連絡がとれました。両日共に予約OKでした。

21日は、我孫子の手賀沼親水広場にでかけ、手賀沼についての講座と広場近くの手賀沼畔で魚類調査となります。翌22日は、金山落しでの調査ですが、親水広場の職員にきていただけるようお願いしました。ところが、以下のメールにあるように、亀成でも県水質保全課の企画があるようです。白井市も関わっていることなので、うまくつながるように思います。

私自身、7月21日、22日は大学の行事としても、参加するように準備をします。

3月4日(日曜日は)ウエルプラットでボランティア室で、13時半 指標種の取りまとめです。みなさんお手元にある12種の記録を地図に書き込み、いつ、だれが、どこで確認したのかをメモして、もちよってください。

とりまとめ責任者のかたのところに集約し、3月23日のコブシ調査とりまとめと同じ日に提出とします。

-----以下須藤(手賀沼親水広場所長)からのメールです-----

今回は声をかけていただき、ありがとうございます。

市民団体や大学と協働などして、自然観察会が当広場でできることは、当広場の利用促進の面で指定管理者である環境財団の狙いの一つでもありますから、願ったり叶ったりです。

7/21は当施設の研修室を仮予約しました。

当広場では、小中学校の校外学習をはじめとする各種団体の学習会等を積極的に受け入れ、水質に関する実験や解説、また、魚とりや昆虫採取などを行い、今年度は30回程度の実績となりました。来年度は50回を目標にしていますので、環境学習の実施場所を探している方がいましたら、是非、ご紹介いただければと

思います。余談ですが、広報は難しいですね。最近は口コミがいかに大事か解ってきました。

追伸: 翌日の7/22は千葉高の浅間さんや中央博の林さんが係わる水生植物調査の仮予定が当広

場研修室に入っております。もしかすると亀成川流域を市民と講師で歩くのかも知れません。
(広場職員は、広場を離れて現場にはなかなかいけないと県へは伝えていますが、狩り出される可能性もあり??)

ここで、この水生植物調査については、白井市も係わる

手賀沼水環境保全協議会(手賀沼流域市村と県。県水質保全課が事務局)で計画をしていますから、白井市環境調査の関係者へは白井市から協力の依頼が、そのうちあるのではと思います。うまく協働できれば、

皆さんの点が、線、ゆくゆくは面になりそうです。

千葉県手賀沼親水広場 指定管理者:(財)千葉県環境財団 須藤雅彦 2007/2/27